

## 第16回県統計図表コンクール応募作品の審査結果

統計思想の普及・表現技術の向上とあわせて統計教育の推進をはかることを目的として毎年実施している、県統計図表コンクールの作品募集については、今年は全国統計大会が7月横浜市で行なわれる兼ねあいもあつて、早目に募集を開始した関係で応募作品は90点で昨年に比し3分の1で出品作品の少なかつたのは残念でした。これら応募作品について、去る6月3日統計館において県、教育庁、統計協会から関係者が出席審査会が行なわれ慎重審査の結果下記のものが入選した。これら入選作品のうちから再び全国統計図表コンクールへ出品する作品を審査選考する。

### <第16回茨城県統計図表コンクール入選者>

#### 第1部 (小学校1年～3年)

表題	氏名	学年	学校名
わたしのなわとび	石毛 克枝	2年	行方郡玉造町立玉造小学校
たけのこはこんなのにびる	吉田 重夫	3年	〃
おかしにあつまるありしらべ	山田 洋子 鶴見山見子	1年	結城市立江川北小学校
きせつによる日ざしの長さのへんか	斎藤 幸子 遠井 光江	3年	〃
ぼくらの市ゆうき	中山 雅愛 一ツ木文也	3年	結城市立江川南小学校
おふろのわきかた	市村 玲子	2年	行方郡玉造町立玉造小学校
うまれた月しらべ	中村久美子	1年	結城市立江川北小学校
あさがおのはのてた日にち	岡田美津恵	1年	〃
きゆうしよくのおかずのすきなもの	塚越 洋一 増山 光子 石塚 洋子	2年	〃
色による水のあたたまり方	舟橋 昇 出山千代子	3年	結城市立江川南小学校

#### 第2部 (小学校4年～6年)

イネのみのり	青木 繁 須藤 安清	4年	結城市立江川北小学校
子うさぎの成長	吉川久美子	5年	行方郡玉造町立玉造小学校
高学年の音楽鑑賞の実態	出山恵美子 岩崎 佳子 鈴木 尚子	4年	結城市立江川北小学校
金魚の呼吸数	藤川 由美	6年	行方郡玉造町立玉造小学校
わたしたちのテレビ視聴	岩崎 一恵 浜野 洋子	4年	結城市立江川北小学校
旅行と乗物経験の実態	塩森 健一 斎藤 浩一	6年	〃
かわきの早さわ	岡見 智子	5年	行方郡玉造町立玉造小学校
たまごのうきかた	岡田 三男 黒川 弘則	4年	結城市立江川北小学校
郷土の労働力の不足の原因	福田 正則 飯沼 良子	5年	〃
帰校後の遊び場所	木村 洋子 船橋 洋子	5年	〃
ふりこの実験観察	沼原美千代 菊地 洋子	6年	結城市立江川北小学校

#### 第3部 (中学生)

新しいEnergy原子力	田村 満子 岩田 礼子 板橋 美江 岸 静枝	3年	結城市立結城中学校
結城紬と石下紬	菅井 溶子 宮田 文子 恩田 清美	3年	〃
中学生シリーズ No.1 現代つ子について	稲葉 典子 滝沢 君江 竹本 知子	2年	〃
〃 No.2中学生の進路	石井久美子 牛久 明美 田中 慶子	2年	〃
〃 No.4増加する中学生の非行	秋山 岳士 田中 一司 藤井 正隆	3年	〃
結城市の交通事故状況	江沢 保 浜野 清	2年	結城市立江川中学校
結城市の交通事故	生井 裕司 飯沼 弘	2年	結城市立江川中学校
私たちの身長と体重	石崎美恵子	3年	鹿島郡旭村立旭中学校
旭村の耕運機の普及	小松崎光江	3年	〃
中学生シリーズNo.3伸びゆく体位	岡野 雅子 岡野まり子 田中 英子	3年	結城市立結城中学校
こどもの交通事故	岩上 勝重 江原 哲夫 船橋 章 池田 一広	3年	結城市立江川中学校
中学生の非行の実態	関 勝雄 篠崎 実 鈴木 一三 吉川 和明	3年	〃

### ♪ 高らかにメーデーの歌夏がくる ♪

さわやかな緑の初夏はメーデーから始まる。例年だと5月ともなれば四囲周辺ことごとく初夏らしく感じられるが、本年は、異常低温が続いて未だ夏遠しといったところ、メーデーは労働者の祭典、戦後、急速に盛大になったこの祭りも一時期には血なまぐさい乱斗事件で賑わったものだが、最近に至極平穏に家族ぐるみで和やかに行なわれるようになって、本当の労働者の祭典といった感じが強い。昭和38年労働者調べによると全国の労働組合は49,796あり、組合員数は9,269,776人で全人口の1割に当る。本県の組合数は589、組合員は119,873人ある。

### ♪ 天候は意地悪茶の芽まだ伸びず ♪

5月2日は八十八夜、立春から数えて88日目のこの頃は、田植や茶摘みと詩や唄の材料になるのだが、本年は異常低温で、茶の芽もちよつびり伸びた程度で茶摘にはほど遠い1カ月近くも遅れているようだ。もちろん茶に限らず総ての生物ことごとく生育が遅れ、また野菜の高値を呼びそうである。昭和38年農林省調べの製茶生産量は81,110トン、本県の生産量は1,182トンある。

### ♪ 冷害になるか田植唄聞かず ♪

異常低温—冷害—凶作といやなニュースが報道される今年八十八夜になつてもまず稲苗の伸びが悪く、ところによつては苗代が低温で枯死、二三回播き直したとのこと、田植も全般的に遅れる模様、長期予報によれば典型的な冷害型とか、気象台の黒星となつて天候が順調に回復するよう祈る。昭和38年農林省調べの全国の田面積は3,427千町歩あり、本県は9番目で107千町ある。

### ♪ 憲法が守る平和なくらしあり ♪

5月3日は憲法記念日、現在の憲法は昭和22年に施行せられ満18年になる。平和国家として生まれ変わった日本が、民主主義、平和主義、基本的人権という三本の柱に支えられたこの憲法が、国民の生活と権利を守つてきたわけだが、最近、この憲法も改憲の動きが活発になつてきたようである。いずれにしても私達の生活と権利を守るための基本的な線は守つてもらいたいものである。

### ♪ 男の子ここにも居るぞ鯉のぼり ♪

5月5日こどもの日、鯉のぼりが5月の空を泳ぎまわつて男子の存在を示す。昔は旧暦によつて行われてきた節句がこの日にあたる。柏餅、しょうぶ湯、戦争ごつこと思い出が多い。現在はすべての子供を守るために児童憲章があり、その第9条「すべての児童はよい遊び場と文化財を用意され、わるい環境から守られる」とうたつている。だが現実はどうだろう騒音や悪い環境下に置かれる幼稚園や小学校、心ない大人どもに荒らされる遊園地、見せたくない映画や、雑誌など私達のまわりにはまだ児童憲章の精神が守られていないことが多いようである。昭和38年厚生省調べの全国の生出児数は1,657,402人、本県では35,714人が生れている。

### ♪ 母の日の母がやつぱり早く起き ♪

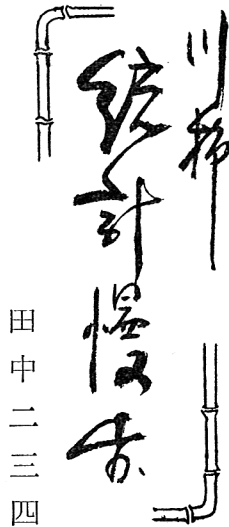
5月9日は母の日、カーネーションの造花を胸に飾つて母の存在を示す。学校でもこの日は「お母さんを大事にしてお手伝をしましょう」と子供達に教える。子供達のためには母の日の母はいつものように動き回り一番早く起きて一番早く寝るようである。

### ♪ 連休があつて父さん疲れてる ♪

4月末から5月にかけて休日が多い。人はこれをゴールデンウエークと称する。サラリーマンにとつては最良の日、しかし家庭の父ともなると子供達にせがまれて休養どころか、どつかえ連れだされ身心、財布とも疲れることが多い、奥さんも待つてましたとばかりあれこれと用事を言いつける。最良の日であるべきものが最悪の日にもなりかねないのも連休である。

### ♪ 連休の山へ命を捨てて行き ♪

若人待望の連休、この日のためにいろいろのプランを立てる。春山も若い人には大きな魅力、だが今年の連休は記録破りの山の遭難がつづき連日新聞誌上を賑わしたものである。北アルプスや南アルプス、近いところの黒須や奥秩父などで相ついで遭難がおこりあたら若い命を春山に埋めるといふ惨事が起つた。死者46人、行方不明7人、負傷10数人の多きにのぼる。山は沈黙して語りずきびしいまでに美しい山容は多くの生命を呑んでただ黙りかえつている。



田  
中  
二  
三  
四

(10)



### 市町村統計主管課長会議

昭和40年国勢調査並びに就業構造基本調査を主題に去る5月28・29の両日笠間市井筒屋で、5月31日6月1日の両日筑波町山水荘で開かれました。

### 第15回都道府県統計課庶務主任者会議

去る5月28日全国都道府県の庶務主任者を集めて、総務省大講堂で開かれた。主として昭和40年度の統計関係職員についての予算並びに機構等についてまた市町村職員の研修等実施の事務面について審議した。

### 関東甲信静プロツク

#### 都道府県庶務主任者会議

去る6月4日上記の会議が東京都で開かれます。議題は主として国勢調査に伴う庶務関係の事項であります。

### 就業構造基本調査打合せ会

就業構造基本調査の実施にあたり県では下記の市町村の順で事務打合せ会を開きます。

#### 記

- 6月1日(火) 麻生町(役場)
- 6月2日(水) 土浦市(土浦労政事務所)
- 6月3日(木) 下館市(下館労政事務所)
- 6月4日(金) 水戸市(県統計館)

### 第16回茨城県統計図表コンクール

標記の作品募集について去る5月25日〆切つたが、応募された作品は小中学校合わせて90点、今年は全国統計大会の期日の関係で例年より早目に募集期間を繰上げたので応募作品は少なかつた。この作品中審査の結果優秀なもの数点が全国大会に出品される予定である。

### 土浦市内小中学校の統計教育研究会

土浦市統計教育研究部(部長倉持清治真鍋小学校長)では去る6月11日午後1時から真鍋小学校において統計教育の研究会を開く、講師に県統計課から田中係長が出席の予定。

### 統計教育実験学校の研修会

県の統計教育実験学校の指定をうけた。守谷町立守谷小学校では、去る5月28日同校において統計に関する理論と実技の研修会を開いた。講師には県統計課の田中係長があつたが参加者は同校の先生方で熱心に受講された。

### 統計教育研究部市郡部長会

標記の本年度第1回会議が、水戸市柵町県学校長会館が開かれました。議題は異動にもなる支部長の選任、40年度の事業計画、予算等である。

### 国勢調査の記念切手発行きまる

今秋行なわれる国勢調査は、第10回目を迎えるが郵政省ではこれを記念して9月25日に第10回国勢調査記念切手を発行することになった。国勢調査で記念切手が発行されるのは戦後初めてである。

### 景気動向統計調査の改正

経企庁では、経済動向の分析資料として、32年から一連の景気動向調査を実施してきたが、40年度から短期の経済動向を早期には握するため、その改正を行なうことになった。主な改正点は次のとおり

消費者動向予測調査 徒来年2回実施してきたが、これを4半期調査と消費構造調査に分ける。4半期調査は景気基調の変化に伴う消費動向と消費者信用の動きを迅速には握するため重点項目について、毎4半期に全国5064世帯について実施する。

消費構造調査は、8月及び2月の2回9,396世帯についてほぼ前年度までと同様の調査を行なう。

法人企業投資予測統計調査=調査回数を年2回から4回にふやす。年1回中小企業についても予測調査を行なう。調査項目を縮小整理すると共に在庫投資の項目を追加する。

法人企業投資実績統計調査=従来の調査項目のうち、設備項目別投資額などを削る。

# 近 着 統 計 資 料 案 内

図 書 名	調査年 刊行年	発 行 者	図 書 名	調査年 刊行年	発 行 者
<b>総 記</b>					
日本 の 統 計	39年	総 理 府 統 計 局	奈 良 県 民 所 得	38年	奈 良 県
地 方 統 計 関 係 法 規 集		行 政 管 理 庁 統 計 基	商 業 統 計 調 査 結 果 報 告 書	〃	福 島 県
統 計 関 係 法 規 集		〃	山 形 県 民 所 得	〃	山 形 県
<b>産 業 ・ 経 済</b>			学 校 保 健 統 計 調 査 報 告	39年 度	大 阪 府
事 業 所 統 計 調 査 報 告 (福 岡)	38年	総 理 府 統 計 局	卒 業 後 の 状 況	39年 6 月	〃
〃 (滋 賀)	〃	〃	学 校 基 本 調 査 報 告	39年	〃
〃 (宮 城)	〃	〃	本 県 の 商 業	〃	徳 島 県
〃 (和 歌 山)	〃	〃	法 人 企 業 統 計 調 査 報 告	〃	愛 知 県
〃 (奈 良)	〃	〃	神 奈 川 県 の 商 業	〃	神 奈 川 県
〃 (徳 島)	〃	〃	道 民 所 得 推 計 結 果 報 告	38年	北 海 道
〃 (福 井)	〃	〃	消 費 実 態 調 査 結 果 報 告	〃	神 奈 川 県
〃 (長 崎)	〃	〃	学 校 保 健 調 査 結 果 報 告	39年 度	〃
〃 (青 森)	〃	〃	学 校 基 本 調 査 結 果 報 告	〃	〃
〃 (山 口)	〃	〃	人 口 実 態 調 査 結 果 報 告	〃	〃
工 業 用 地 統 計 表 (含 用 水)	〃	通 商 産 業 省	労 働 力 実 態 調 査 結 果 報 告	38年	〃
工 業 統 計 表 (企 業 編)	37年	〃	県 民 所 得 報 告 書	〃	山 口 県
地 域 経 済 統 計 要 覧	40年	経 済 企 画 庁	県 民 所 得 推 計 書	〃	高 知 県
経 済 変 動 観 測 資 料	〃	〃	県 民 所 得 推 計 報 告 書	〃	新 潟 県
全 国 機 械 工 場 名 簿	40年 版	通 商 産 業 省	静 岡 県 の 県 民 所 得	〃	静 岡 県
加 工 統 計 一 覧	38年	行 政 管 理 庁	統 計 年 鑑	〃	〃
漁 業 経 済 調 査 報 告 (企 業 体)	〃	農 林 省 農 林 経 済 局	学 校 基 本 調 査 結 果 報 告	39年 度	群 馬 県
〃 (漁 家)	〃	統 計 調 査 部	学 校 保 健 統 計 調 査 結 果	〃	〃
乳 用 牛 大 規 模 飼 養 者 基 本 調 査 結 果	〃	〃	〃	〃	島 根 県
農 業 就 業 動 向 調 査 報 告 書	〃	〃	学 校 基 本 調 査 結 果 報 告	〃	〃
農 家 子 弟 の 新 規 学 校 卒 業 者 調 査 結 果	39年	〃	県 民 所 得 推 計 報 告	38年 度	神 奈 川 県
<b>社 会 ・ 労 働</b>			工 業 生 産 実 態 調 査 結 果 報 告	39年	〃
貯 蓄 動 向 調 査 報 告	38年	総 理 府 統 計 局	富 山 県 法 人 企 業 統 計 調 査 報 告	38年 度	富 山 県
全 国 年 令 別 人 口 の 推 計	39年 10 月	〃			
都 道 府 県 人 口 の 推 計	〃	〃	<b>茨 城 県</b>		
労 働 移 動 調 査 報 告	38年	労 働 大 臣 官 房 労 働 統 計 調 査 部	県 民 所 得	38年	県 統 計 課
<b>教 育 ・ 文 化</b>			交 通 年 鑑	39年	警 察 本 部
文 部 統 計 要 覧	40年 版	文 部 省	そ の 産 生 産 状 況	39年	農 林 水 産 部
<b>各 都 道 府 県</b>			ガ ラ ス 室 ・ ビ ニ ール ハ ウ ス の 設 置 状 況 と そ の 産 生 産 状 況	40年 3 月	県 経 済 農 協 連 合 会
栃 木 県 統 計 年 鑑	39年	栃 木 県	ポ ケ ッ ト 子 算 (3)	39年 度	県 議 会 事 務 局
京 都 市 統 計 書	〃	京 都 市	茨 城 県 議 会 資 料	39年	〃
住 民 登 録 に よ る 東 京 都 の 世 帯 人 口	40年 1 月	東 京 都	〃	40年 4 月	〃
東 京 都 住 民 登 録 人 口 移 動 報 告	38年	〃	茨 城 県 議 会 史		議 会 史 編 さん 委 員 会
愛 媛 県 金 融 連 関 表	〃	愛 媛 県	商 品 流 通 調 査 結 果 報 告	40年 3 月	県 統 計 課
			茨 城 県 に お け る 労 働 需 給 の 推 移 と 見 と お し	〃	県 職 業 安 定 課

## 前田香徑

今輔は一代にして巨万の富を貯え、押しも押されぬ地位の顔役になつたとき、江戸では彼を「日本の陶朱子」といつて評判した。その昔一代で大金持になつた支那の范れい（はんれい）の一生に喩えていつたのだが江戸の葎町筋では、彼を指して当時「今太閤」と呼んだ。

それほどに名の売れた今輔も、半世の経歴が曖昧なために講談や小説にはたびたび取上げられているけれど、書に伝記らしい書物は一冊も世に出ていない。

其談の故大島伯鶴は「大当利大福帳」という題名で水戸家の折助の出世物語をたびたび講演したが、それは今輔をモデルにしたもので、名は伝介といつていた。

話は彼が千両富籤を引き当てる筋であるが、村上元三氏の小説「天保六道銭」にも、故邦枝完二の「白扇」にも、今輔と水戸家の富籤興業の話が書かれてある。「六道銭」は芝居でよくやる「忍逢春雪解」を潤色した小説で、登場するお数寄屋坊主河内山宗春の、水戸家をユスる場面が出てくるが、水戸家で富の興業をやつた事実はない。故市島春城の「春城隨筆」（大正15年出版）に「河内山宗春は大規模の詐欺師であつて、徳川三家の一たる水戸家の弱点を突き少なからぬ金を強請り出したといふ」と書いてあるが水戸家の弱点とは果して何を指しているのだろうか。ともあれ講談も小説も今輔の出世を富籤に関連させているのは、そこに何か事実に近い資料があつたことかもしれない。「白扇」の作者は今輔が「度り仲間から出世して、今日の地位を築いたということ、千両富の運に乗つたということもあろうが、そればかりではなく、やはり一廉の人物に相違なかつた」と書いている。私は「白扇」を読んで、作者は今輔を相当に研究していなければ一廉の人物とは書けないだろうと思つた。それにしても水戸の学者が今輔を深く究明せず悪罵して、大山師とか、吸血鬼とかいつているのに反し、小説の作家が郷土の学者にまさる史眼をもつて彼の人物を高く評価しているのに好意がもてたのである。水戸の学者の著述がこぞつて今輔を誹謗しているのは、彼が貧農の出身でありながら、五百石の食禄を食み、外出には駕籠側に数人の家来を従え、駕籠先に槍持ちを立ててねりあるいた彼に、嫉視の眼が向けられたであらうし、特に藩主斉昭烈公の襲封後は江戸家老榑原淡路守一派が斥けられ、その党与と見られて同時に貶黜された者であるから、同藩の学者たちから悪党扱いされている

のは当然であるかもしれない。しかし、それは大方感情的偏見ではないかと私は思う。

烈公襲封は文政12年（1830）10月で、翌年は天保と改元された。烈公は藩主になると、ただちに弊政改革に乗り出し、江戸家老榑原淡路守、庭奉行関十兵衛など、保守派の家臣に隠居を命じ、まもなく藤田虎之介（東湖）会沢恒蔵（正志斎）吉成又衛門（南園）など、新進気鋭の人材を登用したが、この家臣の新旧交替には斉昭の継嗣問題が大きく作用していることは間違いない事実である。すなわち榑原一派は斉修（第八代藩主哀公）の養子を将軍家から迎える策動をしていたので、烈公が襲封すれば彼ら一派の罷免は当然の成行だつた。今輔もこの問題には榑原一派のために暗躍したといわれているが、従来の事情から見て、それも恐らく真実であろう。しかしそれが具体的に指摘する資料はいまのところ発見されていないようである。

私はこの貧乏藩の生んだ大久保今輔という不思議な人物にうちこんで、その調査に着手してからすでに8年になる。私は未だ今輔伝を正確に書くほど、彼の一生を知りつくしているわけではないが、異彩の成功者としてまず第1に彼を人物郷土史に掲載したいのである。

私が今輔の生れた亀作（カメサク）を訪れたのは数年前の木枯の吹きすさぶ冬の日だつた。常陸太田市の駅前から日立行のバスに乗つて約20分、俗に十二丁田圃といわれる県道筋から里道に入つて徒歩で北方に進み、いくつかの坂を越えた。真弓山がまのあたりに展開する台地の畑の中に明世神社という一社がある。萃表のある馬場先から約二百米の東北方に前後して2戸の藁家が見える。細い畑道を前にして古風な長屋門のある農家が今輔の養家で、その後ろの1戸が彼れの生家である。大久保氏一族の墓地はさらに二、三百米北方の赤松の林の中にあるが私は養家の戸主大久保重忠さんという70をすぎた老人にあつて対談したが、今輔関係の資料らしい資料は終に見られずに帰つてきたことを覚えている。

この部落は現在久保木氏を名乗る家が15戸あり、ほかに大久保氏を合せて20余の姓氏を数えるが、旧家といつているのは柴田、江幡、大久保氏の三氏で、これを亀作三姓と称し、昔はこの三家から村役人が選任されたといふ。